

ボイラー性能表示基準値

項目		内容	参考	日貫協基準値	
			高位発熱量	低位発熱量	単位
液体燃料	灯油	燃料発熱量	46.5	43.5	MJ/kg
			37.2	35.3	MJ/L
		密度	-	0.80	kg/m ³
	A重油	燃料発熱量	45.5	42.7	MJ/kg
			39.1	36.7	MJ/L
		密度	-	0.86	kg/m ³
	ハイカロリー A重油	燃料発熱量	44.7	42.0	MJ/kg
			39.8	37.4	MJ/L
		密度	-	0.89	kg/m ³
気体燃料	13A	燃料発熱量	45.0	40.6	MJ/m ³ (N)
	プロパン	燃料発熱量	101.4	93.7	MJ/m ³ (N)
			50.2	46.4	MJ/kg
		密度	-	2.02	kg/m ³ (N)
	ブタン	燃料発熱量	128.4	118.9	MJ/m ³ (N)
			49.4	45.7	MJ/kg
		密度		2.599	kg/m ³ (N)
給水温度				15.0	°C
蒸気圧力				0.49	MPa
空気温度				35.0	°C
酸素濃度				21.0	%

2022年8月23日改訂

- 記) 1. プロパンとブタンの低位発熱量と密度は2006年省エネ手帳による。
 また高位発熱量は2021年の省エネ手帳の値を参考値として記載する。
2. 13Aの高位発熱量は、(一社)日本ガス協会の発表値を参考値として記載する。
3. 液体燃料の高位発熱量は、(一社)日本ボイラ協会の規格を参考値として記載する。
4. ボイラー効率の誤差は±1%(ポイント)とする。
5. 燃焼量の誤差は±3.5%とする。